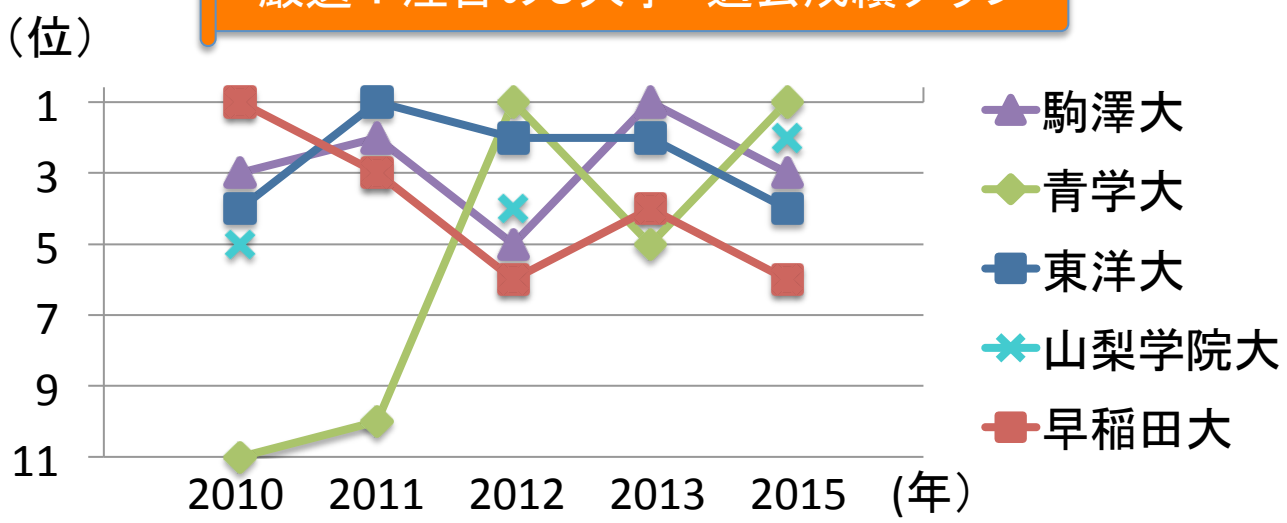
駒大にとっての“出雲駅伝”

秋。駅伝シーズンの幕開け、すなわち学生三大駅伝と称される3つの駅伝大会の始まりを告げる季節である。選手たちはこの日に向け、過酷な練習の日々を乗り越えてきた。

三大駅伝の初戦となるのが、今大会の出雲駅伝。出雲駅伝は、全長45.1㌔、全6区間で行われる。選手が1㌔2分55秒ほどのハイスピードで駆け抜けることから「スピード駅伝」とも称される。

昨年を「育成の年」と位置付けた駒大は、三大駅伝すべてで3位という‘’平成の常勝軍団‘’としての悔しさ、課題の残る結果となった。今年を**「勝負の年」**として選手を鍛えてきたという大八木弘明監督は、三大駅伝での1勝を目標に掲げている。 その目標に向け、初戦である出雲駅伝で弾みをつけたいところだ。2013年以来、**3年ぶりの王座奪還となるか**。三大駅伝、戦いの火蓋が今切られる。

厳選！注目の5大学　過去成績グラフ



大八木　弘明
（おおやぎ ひろあき）
1958年7月30日生まれ
福島県出身

2002年4月に駒澤大学陸上競技部の助監督に就任、その2年後には監督となった。コーチ時代を含めれば、今年で22年目となるその功績は箱根駅伝総合優勝6回、全日本大学駅伝優勝12回、出雲駅伝優勝3回と常に大学駅伝上位校として名を馳せる駒大を創り上げた。

藤田　敦史
(ふじた あつし)
1976年11月6日生まれ
福島県出身

駒大在学時、4年連続で箱根駅伝に出場。4年時には4区で驚異的な新記録を更新、99年に初マラソンのびわ湖毎日マラソンで瀬古利彦の日本学生記録を20年ぶりに更新した。その後富士通に入社、2015年に駒澤大学陸上競技部コーチとなり、現在学生の指導を行っている。